

Ningyo Joruri Open Class

共愛学園前橋国際大学公開授業

「人間を考える」

～ぐんまの郷土芸能人形浄瑠璃～

2024年
11月28日 (木)

Thursday, November 28

16:00～17:30

尻高人形錦松会

ShittakaNingyoKinsyokai

◆ ワークショップ

◆ 生写朝顔話 宿屋より大井川の段

－日本語・英語字幕付－

Workshop, Performance,
Syoutsushi Asagaobanashi

-With ENGLISH&JAPANESE SUBTITLES-

参加費

無料(要申込)

※一般受講者の聴講席は後方となります

申込・問合せ

電話 027-243-7200

(受付時間 8:30～17:00 日曜・月曜・祝日・月曜祝日の場合は翌火曜を除く)

公益財団法人群馬県教育文化事業団

〒371-0801 前橋市文京町2-20-22



会場

共愛学園前橋国際大学

5号館 5101 KYOAI COMMUNITY HALL

Place Kyoai Gakuen University 1154-4, Koyahara-Machi, Maebashi
Free Admission (Telephone reservation is required)

Inquiry & Reservation GUNMAKEN KYOIKUBUNKA ZIGYODAN
TEL: 027-243-7200



群馬県教育文化事業団

[主催] 共愛学園前橋国際大学、群馬県、(公財)群馬県教育文化事業団

[協力] NPO法人ぐんま郷土芸能助っ人塾

[後援] 群馬県教育委員会、上毛新聞社、群馬テレビ株式会社、FM GUNMA、第48回県民芸術祭運営委員会

尻高人形錦松会

(群馬県重要無形民俗文化財)



尻高人形は、名古屋の人形芝居の一派である豊松流四代目の豊松傳三が尻高村の人に浄瑠璃人形を披露したことが始まりである。村人に人形の操作を伝授した傳三は、明治19年に「豊松家流儀」の免状を送り、尻高村に「豊松座」が結成された。

その後、人形道具一式が古物商に売却されるなど一時衰退した時期があったが、昭和8年に有志が道具を買い戻し、座名を「錦松会」と改め現在に至っている。

一人遣いの尻高人形は「差金人形」とも呼ばれ、遣い手は左手を人形衣装の背中に差し込み、頭を支えるサシ（心串）を操って眉、目、口を動かし、右手では2本の差金を使って人形の両手を動かす。こうすることで三人遣い同様の複雑な所作を演じることができる。

毎年11月23日に高山村西広場屋内ゲートボール場に併設された舞台上で定期公演を行っている。
昭和53年国記録選択無形民俗文化財、昭和58年群馬県重要無形民俗文化財。

ACCESS

JR両毛線 駒形駅 北口より徒歩10分



会場

共愛学園前橋国際大学

5号館 5101 KYOAI COMMUNITY HALL

前橋市小屋原町1154-4

1154-4 Koyahara-Machi, Maebashi

《駐車場についてお願い》

- 大学の駐車場には限りがあります。できるだけ公共交通機関でご来場ください。
- お車でお越しの方は、「第2駐車場」または「第3駐車場」に駐車してください。
- 大学の駐車場が満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用ください。（駐車料金の割引はございません。）

守りたい・伝えたい・育てたい
群馬の伝統文化

ぐんま地域文化マップ



地域文化マップ

カテゴリや地域から県内の
民俗芸能・民俗行事を検索



文化マップX

民俗芸能やお祭りの紹介や
イベント情報発信



尻高人形

尻高人形の紹介ページ